

女性の視点をまちづくりへ

平泉地区婦人会と懇談

平泉地区婦人会とのまちづくり地域懇談会が10月15日、役場201会議室で開催されました。懇談会では、平泉地区各地域の役員ら約50人が参加。観光やまちづくりなどをテーマに意見を交換しました。主な内容をお知らせします。



平泉地区の各地域の役員ら約50人が参加

（以下、主な質問など。Q↓質問、A↓回答）

Q 観光について

A 駐車場の案内看板が不親切だし、電光掲示板も古い情報が流れている。また観光客のマナーがひどい。

Q 駐車場の案内看板や電光掲示板については、適切に改善したい。観光客のマナーについては、各所で随時啓発していく。

Q まちづくりについて

A 高齢者の就業場所を増やせないか。

Q 現状としては若年層の就職も厳しい状況にある。高齢者の就業場所としては、発掘作業員などもあるので町の募集に注目して欲しい。またシルバー人材センターに登録する方法もある。

Q 学校の教室にエアコンを配備できないか。

A 教室が仕切られていない学校もあり、エアコンを配備しても効果的でない部分もあるが、学向上や熱中症対策のためにも、来年に向けて検討していきたい。

Q 敬老会について再検討して欲しい。

A テーブルや椅子の使用を検討したこともあったが、転倒するなどの危険性があることや、数百人規模で行事を行っているので、テーブルなどを使用するスペースがないのが現状である。

Q 役場職員の対応を早くして欲しいし、積極的に祭りなどにも参加すべきと思う。

A 職員については、信頼される役場づくりをテーマに、さらに資質向上の取り組みを進めていく。

Q 合併について今後合併はあるのか。

A 現段階では考えていないが、財政が逼迫するなど状況が変化した場合には、皆さんに相談したいと考えている。

道の駅について

Q 特産品の開発、農産物の供給体制づくりは進んでいるのか。

A 特産品の開発は、現在進めている。農産物の供給体制については、できる限り町内産にこだわっていききたいが、不足する部分は周辺との連携で補っていききたいと考えている。システム作りはこれからである。

除染対策について

Q 教育施設を優先的に除染して欲しいし、各家庭にも正しい除染方法を指導していただきたい。

A 天候などによって遅れたところもあったが、小学校の除染は完了している。公共施設の除染は年度内、来年度は一般住宅も考えているし、各行政区に線量計も貸し出したい。

その他として「顔を知っている職員が少ないので、人事異動の時に全職員の顔写真を掲載して欲しい」という意見が寄せられました。

町長と懇談しませんか
平泉町まちづくり
地域懇談会の開催募集

町では住民参加によるまちづくりを目指し、町民との直接対話による意見交換を目的に、町長が地域に向き、懇談する「平泉町まちづくり地域懇談会」を行っています。

◎申し込みできる人は？

行政区や町内で活動する各種団体でお申し込みください。（参加員数は、何人でも可）

◎開催場所は？

開催場所は、地区公民館等の施設とします。申込者の方に開催場所の確保をお願いします。

◎開催日時は？

原則として、平日の午前9時から午後9時までの間で、2時間程度を目途にお願いします。

詳しくは総務企画課までお問い合わせください。

問い合わせ先：総務企画課
☎46-5578

内藤監査委員が功労者表彰

全国町村監査委員協議会功労者表彰

全国町村監査委員協議会主催の町村監査功労者表彰式が東京都のメルパルクホールで行われ、本町代表監査委員の内藤和雄さん（12区）に同協議会長から表彰状が贈られました。

内藤さんは、平成17年2月から本町の代表監査委員を務めており、地方自治の振興と発展に努められたことが評価されました。

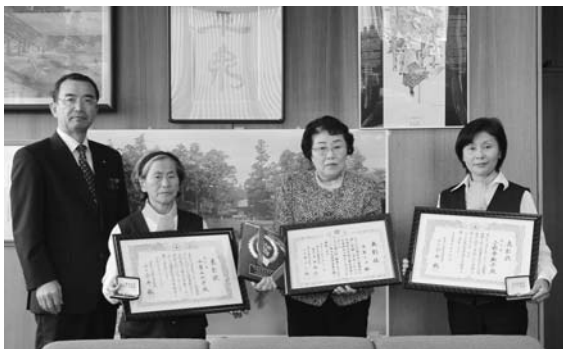


▶菅原町長に受賞を報告する内藤さん（写真右）

吉家さんらに交通安全表彰

交通安全功労団体等表彰式

平成24年度交通安全功労団体等秋の表彰式が9月28日、一関文化センターで開催され吉家トヨさん（19区）が東北管区警察局長・東北交通安全協会会長連盟表彰（交通安全功労者）を、千葉千代子さん（6区）が交通安全章緑十字銅章・全日本交通安全協会会長表彰（交通安全功労者）、小野寺祐子さん（14区）が同表彰（優良運転者）を受賞しました。吉家さんらは長年にわたる交通安全活動への尽力と優良運転が認められ受賞しました。



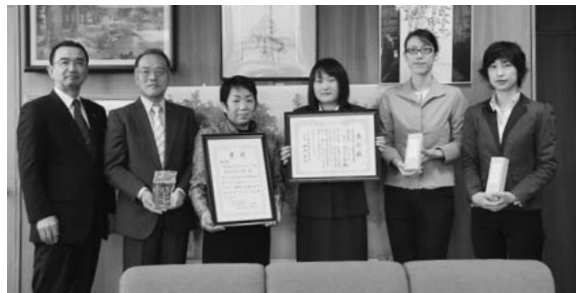
表彰を受賞した（写真右から）小野寺さん、吉家さん、千葉さん

県コンクールでダブル受賞

きんいろばん屋と漬もの処きら里

町農産物加工直売施設あやめに入店するきんいろばん屋が開発した商品「きんいろ平泉」が、平成24年度いわて特産品コンクールでいわての物産展等実行委員会賞（食品部門）を、同施設内漬もの処きら里が開発した商品「平泉金のからしきゅうり漬け」がふるさと食品コンクールで優良賞（個人・加工グループ部門）を受賞しました。

じばんぐ平泉は、町内産の餅粉を100%使用した洋菓子でモチモチとした食感が特徴。からのきゅうり漬けは、町内産の和がらしときゅうりを使った漬物で独特の風味が特徴です。平泉の新たな特産品として期待されます。



（写真右から）瑞代浦小直木加工所長の佐々木章さん、農産物加工所長の藤原美子さん、きんいろばん屋の山崎美由紀さん、漬もの処きら里の山崎美由紀さん、小野寺祐子さんの報告を聞き、菅原町長と副町長が表彰状を授けました。

3部門に4人が入賞

五色百人一首岩手県大会



上位入賞を果たした（写真右から）大内吏樹さん、藤江綺星さん、千葉菜乃子さん、鈴木里佳子さん

五色百人一首岩手県大会が10月13日、えさし郷土文化館で開催され当町から出場した平泉小学校児童が目覚ましい活躍をみせました。五色百人一首は小倉百人一首を20枚ずつ5色に色分けしたものを使用する百人一首。小学生の部は桃、青、黄色の3部門で競われ、平泉小の児童4人が上位入賞を果たしました。

かるた同好会（毎月第3水曜日、町公民館で開催）で、児童生徒を指導している千葉礼子さんは「初参加でこの成績を収めたことにとってもうれしく思う。これからも日本の伝統文化に触れて頑張ってほしい」と今回の入賞をたたえています。

各部門の入賞者は次のとおりです。（敬称略）

桃色の部第2位 藤江綺星（平泉小3年）、同部第3位 千葉菜乃子（同4年）、青色の部第2位 鈴木里佳子（同4年）、黄色の部第3位 大内吏樹（同3年）